

平成30年プレス災害発生状況

確定

1. 地区別

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
燕地区	70	53	8					8	57.1%
燕	55	32	6					6	42.9%
(吉田)	13	16	2					2	14.3%
(分水)	1	23	0					0	0.0%
弥彦	1	3	0					0	0.0%
三条地区	39	19	5					5	35.7%
三条	29	11	5					5	35.7%
(栄)	7	6	0					0	0.0%
(下田)	3	2	0					0	0.0%
加茂地区	4	5	1					1	7.1%
加茂	3	3	0					0	0.0%
田上	1	2	1					1	7.1%
見附地区	1	0	0					0	
合計	114	77	14					14	100.0%

2. 事業場規模別

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
1～9人	38	33	9					9	64.3%
10～29人	44	24	4					4	28.6%
30～49人	13	6	1					1	7.1%
50人以上	19	14	0					0	0.0%
合計	114	77	14					14	100.0%

3. プレス機械の種類等

種類	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
ポジティブクラッチ	44	26	5					5	35.7%
フリクションクラッチ	46	35	7					7	50.0%
液圧プレス	9	5	1					1	7.1%
プレスブレーキ	12	9	1					1	7.1%
その他のプレス	3	2	0					0	0.0%
合計	114	77	14					14	100.0%
起動方式									比率
両手操作	11	8	1					1	7.1%
片手操作	4	1	1					1	7.1%
足踏み操作	97	67	12					12	85.7%
その他	2	1	0					0	0.0%
合計	114	77	14					14	100.0%

4. 安全措置状況

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
(状態として)安全措置あり	安衛則第131条第1項措置	24	10	2				2	11.1%
	安全囲い	13	6	2				2	11.1%
	安全金型	0	0	0				0	0.0%
	専用プレス	0	0	0				0	0.0%
	自動プレス	5	1	0				0	0.0%
	安全プレス	6	3	0				0	0.0%
	安衛則第131条第2項措置	61	46	14				14	77.8%
	ガード式	3	1	0				0	0.0%
	両手操作式(FC)	2	2	6				6	33.3%
	両手起動式(PC)	2	3	0				0	0.0%
	光線式	34	35	6				6	33.3%
	手引き式	4	0	0				0	0.0%
	手払い式	11	3	1				1	5.6%
PSDI	0	0	0				0	0.0%	
手工具	5	2	1				1	5.6%	
安全措置なし	40	7	2				2	11.1%	
合計	125	63	18				18	100.0%	

注・1台に複数の安全装置がされている場合も含む。安全装置がしてあり、使用を怠った場合も「安全措置あり」に含む。

5. 作業の種類

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計
定常作業(抜き・切断・曲げ・絞り等)	89	63	11					11
非常常作業(金型取り外し等)	25	14	3					3

6. 災害発生原因

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
不安全な状態	92	54	4					4	22.2%
安全装置なし	16	14	2					2	11.1%
プレス機械の故障等	1	3	0					0	0.0%
安全装置の故障	1	2	0					0	0.0%
安全装置の不備(調整不良)	25	18	1					1	5.6%
作業方法の欠陥	41	13	1					1	5.6%
その他	8	4	0					0	0.0%
不安全な行動	90	47	14					14	77.8%
安全装置を無効にする	41	24	6					6	33.3%
安全装置の不履行	19	12	6					6	33.3%
その他(金型の取付・取外・調整を含む)	30	11	2					2	11.1%
合計	182	101	18					18	100.0%

(注) 不安全な状態と行動は両方該当する場合も記入してある。(災害発生件数と一致しない。)

(注) 印の数字は死亡者数を表す。

【プレス災害発生状況】(プレスの種類で、FCプレスは、フリクションクラッチプレス、PCはポジティブクラッチプレスと種類を略称している。)

- 3月 FCプレスにおいて、抜き作業中、トレーの下に左手を入れた際に、右手でプレス機のボタン操作を行ってしまい、スライドが下降して左手を挟まれ負傷した。両手操作式安全装置及び光線式安全装置が備えられていたが、どちらの安全装置も無効にした状態で作業を行っていた。
- 5月 PCプレスにおいて、曲げ作業中、線材を金型にセットするため手を入れた際に、フットペダルを踏んでしまい、スライドが下降して右手を挟まれ負傷した。当該プレスには、安全囲い等が備えられていなかった。
- 5月 PCプレスにおいて、変形した鉄板を修正する作業中、右手で鉄板を持ったままフットスイッチを踏んでしまい、スライドが下降して右手を挟まれ負傷した。
- 5月 FCプレスにおいて、鉄板の曲げ加工中、右手で鉄板を持ったままフットスイッチを踏んでしまい、スライドが下降して右手を挟まれ負傷した。両手操作式安全装置及び光線式安全装置が備えられていたが、フート起動に切り替え、光線式の位置をずらして作業を行っていた。
- 6月 FCプレスにおいて、ステンレス材の曲げ加工中、左手でステンレス材を持ったままフットスイッチを踏んでしまい、スライドが下降して左手を挟まれ負傷した。両手式安全装置及び光線式安全装置が備えられていたが、フートスイッチのみで作業を行っていた。
- 6月 PCプレスにおいて、金型を取付中、フットペダルを踏んでしまい、スライドが下降して右手を挟まれ負傷した。金型取付中は、安全囲いを取り外していた。
- 7月 FCプレスにおいて、鉄材の抜き加工中、左手で材料を上型から離そうとした際にフットペダルを踏んでしまい、スライドが下降して左手を挟まれ負傷した。両手式安全装置及び光線式安全装置が備えられていたが、フートスイッチで作業を行い、また、光線式安全装置が有効の状態であると誤認していた。
- 7月 PCプレスにおいて、鉄製品の曲げ加工中、製品を右手でセットする際、フットスイッチを踏んでしまい、スライドが下降して右手を負傷した。手払い式安全装置が備えられていたが、起動方法がフートスイッチのみであった。
- 7月 油圧プレスにおいて、製品の絞り加工中、プレス後に上型についた製品を左手で受け止めようとした際、右手で持っていた製品がボタンに当たり、スライドが下降して左手を挟まれ負傷した。光線式安全装置が備えられていたが、無効にした状態で作業を行っていた。
- 7月 FCプレスにおいて、金属材料の曲げ加工中、上型スライドが下降中に左手で加工物を取り出そうとしてしまい、左手を挟まれ負傷した。光線式安全装置が備えられていたが、無効にした状態で作業を行っていた。
- 7月 プレスブレーキにおいて、製品の曲げ加工中、誤ってフットスイッチを踏んでしまい、両手を挟まれ負傷した。光線式安全装置は備えられていなかった。
- 8月 FCプレスにおいて、製品の加工中、右手で製品をセットする際、フットスイッチを踏んでしまい、スライドが下降して右手を負傷した。両手操作式及び光線式安全装置が備えられていたが、フットスイッチのみで作業を行っていた。
- 9月 プレスの金型の取り付け中、位置を調整するため左手を入れていた際、スライドが下降して左手を負傷した。両手操作式安全装置が備えられていたが、片手操作に変更し作業を行っていた。
- 12月 PCプレスにおいて、抜き下降中、材料から手が滑り、金型内に右手が入り込んだままフットスイッチを踏んでしまい、スライドが下降して右手を負傷した。